

2004年 12月24日 クリスマス・イブ礼拝

司会:	小崎副牧師	19:30	21:30
奏 楽	(祈祷)		
賛 美	「諸人こそりて」(讃美歌112)		
聖 書	ヨハネによる福音書3章16節		
賛 美	「神の御子は今宵しも」(讃美歌111)		
音 楽	カルバリー聖歌隊	ゴスペルクルー	
聖 書	ルカによる福音書2章8~18節		
音 楽	宮田四郎兄・西 由起子姉		
説 教	「喜びのバクハツ」大川従道牧師		
賛 美	「きよしこの夜」(讃美歌109)		
	*献金は、新潟県中越地震被災関係者のため		
祝 禱			
報 告			
音 楽	ハレルヤ・アーメン(ヘンデル)		
	Happy Birthday Jesus!		

「神は人の心の子を賜わったはなし、人の世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネ三の十六)

クリスマスおめでとうございます!!

主の祝福を心からお祈り致します。

2004年12月24日
主任牧師 大川従道

明日のクリスマス当日礼拝にもどうぞ!

・25日(土)11:00am~12:00

説教:柴田順一副牧師 音楽:サインダンス・チーム

・25日(土)7:50pm(英語礼拝)

説教:オカムラ宣教師 音楽:ICAシンガーズ

年末主日礼拝 26日(日)7時・9時・11時 説教:倉知師,小崎師。(大川師)

初詣元旦礼拝 1日(土)11時 説教:大川牧師 音楽:ポーマン師(チェロ)

初詣英語礼拝 1日(土)19時半 説教:オカムラ宣教師 音楽:井沢ルカ姉

初詣新年礼拝 2日(日)9時と11時 説教:大川牧師 音楽:佐佐木氏(演歌)

石の枕

メリークリスマス!! 初めての方々も、久々の方々も大歓迎します。
何年か前の実話を紹介します。

NYのスラム街で廃墟になった小さなチャペルで伝道始めた牧師がいた。イブ礼拝からスタートしようとして大掃除したのに、嵐のために正面の壁に穴があいてしまった。ガレージセールで見つけたテーブルクロスで、その穴をかくした。丁度、クロス(Cloth)の真中に、クロス(Cross 十字架)があった。

その日は朝から雪。ホワイトクリスマスになった。暗くなった外を見ると、バス停で一人の女性が待っていた。暖かい礼拝堂で待つように招き入れた。

その女性は正面をじっと見て「右下に、E・B・Gとイニシャルがありませんか?」と尋ねた。なんと、35年も前に、夫とオーストリアに住んでいて、ナチによって別々になって今は、どこに居るかも分からない。これは私の作品です。牧師は、この老婦人をアパートまでお送りする。

さて、いよいよイブ礼拝が始まろうとしている。一人の老人が牧師に尋ねた。「あの正面のクロスはどこで手に入れましたか。私の妻も同じようなものを作っていました。E・B・Gとイニシャルは編み込まれていませんか?」

牧師は応えました。「ご老人よ! 奥様は生きておられますよ。先ほどご自宅までお送りしたばかりです」。

クリスマスとは、神が人になって生まれてくださった愛の実話ですが、今晚も神様との出会い、人と人と出逢いやその関係の回復がおこります。

今年は、メル・ギブソンの「パッション」には感動させられました。チャペルの正面のクロスを見上げて、その受難と情熱を思い起してください。

ガッツ石松さんは、「クリスマスは、七面鳥の誕生日」と答えていましたが、本当は、イエス・キリストの降誕日です。それで Merry Christ (キリスト) mas! といいます。

Merry Christmas!!